



富士見丘だより

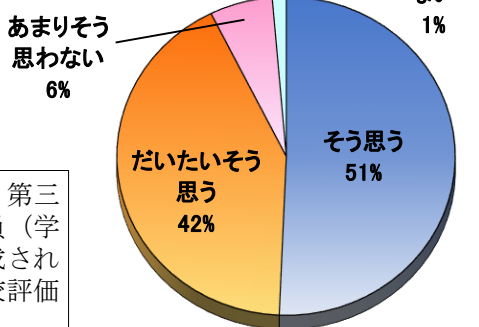
No.11 令和3年2月26日
昭島市立富士見丘小学校
校長 稲垣 達也

【最終評価】 学校評価委員会

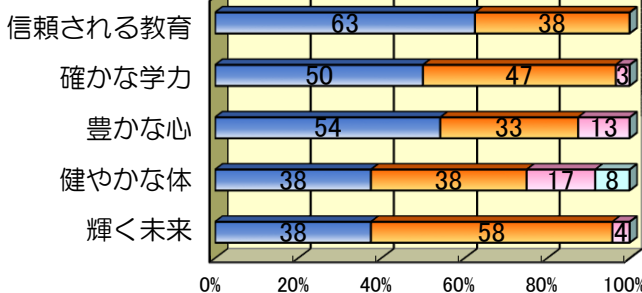
2月6日(土) 学校評価委員会を開催し、評価アンケートや自己評価の結果をもとに、教育活動の成果と課題を整理し、次年度へ向けた改善の視点等を協議していただきました。保護者との信頼関係が深まり、子供たちが安全・安心な学校生活を楽しく過ごしている等、肯定的意見が93%と高い評価となりました。観点別では「信頼される教育」「確かな学力」「輝く未来」は100%近いものの、「豊かな心」87%、「健やかな体」76%とやや低く、新たな視点の創造的な取組が求められました。

詳細は ⇒ <http://www.city.akishima.ed.jp/~fujimi/irinen/irinnrn9gakkouhyouka/irinen9gakkouhyouka.htm>

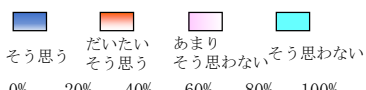
総合評価



観点別

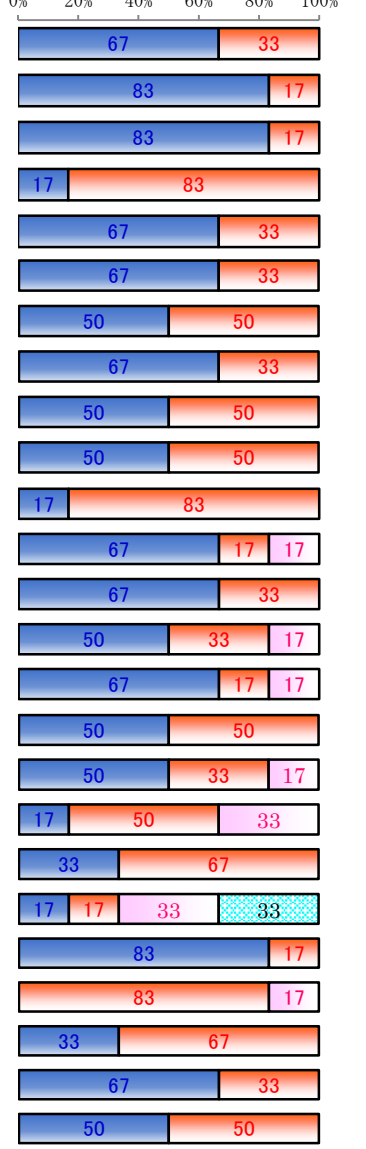


評価項目別



学校評価委員会は、第三者である学校評価委員(学校評議員)6名で構成され客観的な立場で、学校評価を実施する組織です。

観点	No.	評価項目	評価委員からのご意見等	評価
信頼される教育の確立	1	学校の組織力と学校運営	学校運営の面はよく分かりませんが、ブレのない学校経営方針を明確に示しており、先生方がまとまって取り組んでおり、前向きな姿勢に感謝いたします。	A
	2	安全管理危機管理	学校に対して、とても信頼しています。安心、安全、命が守られていると感じています。子供たちの命を最優先に考えていることがよく伝わります。	A
	3	学校公開情報発信	ICT化に尽力され、学校ブログの毎日の発信や情報伝達の速さに驚いています。感染防止をした上で、色々な工夫をして学校公開の機会を設けていることにも感謝します。	A
	4	カリキュラムマネジメント	正直、内容がよく分かりませんが、これからの時代を生きる子供たちにとって必要不可欠な力を育むカリキュラムを組んでいただきたいと思います。	B
	5	学校・家庭・地域の連携協働	コロナ禍で、実質的な協働は難しくなっているのではないのでしょうか。学校便りやホームページ等での情報発信、学校公開等、多様な情報を得るチャンスは多くありました。	B
	6	共にある教育の実現	休校中のアンケート等、年間を通して保護者の意見に耳を傾け、学校改善に反映する動きも見え、保護者の教育参画は、子供たちにとっても良い影響を与えていると感じます。	A
	7	働き方改革の徹底	全国的に働き方改革が叫ばれているが、「働かない」ことがよいこと勘違いされないよう、働き方改革の本質を見抜いて、子供たちのために専念していただきたい。	B
	8	ワンチームでビジョンを共有	よく考えると、富士見小は、特別支援教育の中核校として、市内でも屈指の教育ができる学校ではないかと思えます。教育資源を有効に生かしていただきたい。	B
確かな学力の定着	9	基礎的基本的な学習の定着	コロナで2ヶ月も休校になった分、学力を向上させるのは、困難であったのではないのでしょうか。ただ、学校全体が落ち着いており、授業の雰囲気がとても良いので、安心です。	A
	10	学びに向かう姿勢の向上	子供の意見をとても尊重しており、対話により広がる探究心が豊かな創造力を育て学びの楽しさにつながっている。深く考え、話し合う努力のいる行為を大切にしてほしい。	A
	11	学習習慣・学習規律の定着	家庭学習を充実させることは難しいことと思います。個に応じた指導は、短時間で難しく、一人一人の指導時間を確保するしかないのではないのでしょうか。	B
	12	外部人材ICT活用	今年は、大型TV設置、タブレット活用、プログラミング教育、オンライン配信等々、目まぐるしく変化していき、ちょっと追いつかない気もしますが、素晴らしいことと思います。	B
	13	ユニバーサルデザイン	今年は、すべての子供にやさしく分かりやすい授業を心がけ、言葉通りに授業の工夫がなされていると感じます。とくにICTの活用はやはり効果的だと思います。	A
豊かな心の醸成	14	社会性の向上	個性的な子供さんが多く、先生方が気配り、目配りに尽力されており、落ち着いた学校生活につながっているのだと思います。スキルを学ぶことの大切さも感じました。	C
	15	自己有用感の醸成	先生が子供を信頼し、子供が先生を信頼しているので、自己有用感が高まり、子供同士も思いやりのある接し方ができるようになったのだと大変嬉しく思います。	B
	16	心の居場所づくり	コロナ禍で先生方が心身ともに疲れ切っておられるのではないかと心配しておりますが、それほど子供たちや保護者にまで細やかに暖かく、一人一人に対応して下さっています。	A
	17	特別支援教育の推進	子供たちの言葉遣いが荒いことが時々気になります。まずは丁寧な言葉遣いから、互いを尊重する機運が高まると考えます。	C
健やかな体の育成	18	基本的な生活学習習慣の定着	感染防止のため、食の指導はご苦労なさっていると思いますが、配膳や身だしなみ、黙食など徹底していて、子供たちの食の安全に対する意識が向上したと思います。	C
	19	体力・運動能力の向上	運動は、コロナ禍でもいろいろ工夫できると思います。休み時間も子供たちがもつと外に出て遊んでいる姿を見たいです。	B
	20	オリ・パラ教育の推進	このような状況の中で、正直、オリンピックどころではないかと思えます。しかし、なかったことにするのどうかと思えますので、何らかの対策が必要かと。	D
	21	健康管理保健衛生	感染症対策を中心に、学校の安全管理、健康管理は徹底していると感じます。そのせいか、今年度は欠席も少ないと聞いており、みんな元気に登校していることが何よりです。	A
輝く未来に向けて	22	課題解決・探究的な学びの充実	総合的な学習の時間を「コロナと共に生きる」という大きなテーマを掲げ取り組んでいると聞きましたが、良いとは思いつつ内容があまりわかりません。これから期待します。	C
	23	主体的対話的で深い学びの推進	ソーシャルディスタンスが、感染防止の物理的距離の確保の意味から、他者を社会的に隔離したり排除したりするようなことにならないように、対話の重視を継続してほしい。	A
	24	地域の学校としての役割遂行	まさにこれからの未来に向け、大切な視点だと思います。そのためにも、まずは足元から。子供たちの同士の関係性の構築からではないでしょうか。	B
	25	未来を創造する学校図書館	今年度は、図書室が普通教室になってしまったので、苦労したと思います。それでも子供たちは本に親しんでいたようなので、来年度からはしっかり活用できればと思います。	B



※ 評価委員会の最終評価は、指標や数値のみで判断せず、総合的に評価しています。 ※ グラフの数値%は、四捨五入しているため、100%にならないことがあります。

学校教育目標	○ よく考える子ども ○ けんこうな子ども ○ すすんで働く子ども ◎ 思いやりのある子ども	ビジョン教育	【目指す学校像】職員が組織的に協働して、児童が主体的に活動し、生涯学習の基礎を確実に身に付け、家庭・地域の信託に応える学校
	【目指す児童像】未来の創り手として、自ら考え、創造力・表現力に富み、互いを尊重し人の為尽くす、心身共に健康で活力に満ちた子供		
	【目指す教師像】児童・保護者・地域の願いを受け止め、熱い心と志を持ち、変革に臆することなく、使命と役割を遂行し、結果に責任を持つ教師		
前年度までの学校経営上の成果と課題	平成31年度評価報告書より	<p><成果>学校の授業改善取り組みについては概ね理解されている。「富士見丘スタンダード」の内容は定着しつつある。一部の児童は継続して指導中である。家庭学習もほぼ定着してきているが、児童や家庭による差がやや大きい面も見られる。</p> <p><課題>オリンピック・パラリンピック関連の取り組みの内容や、個々の児童の体力や意識には差がある。個別に発信・対応を行う機会は多かったが、保護者には不十分と感じることが多かったようである。</p>	

教育委員会基本方針	No.	評価項目	評価内容	学校経営目標(具体的な方策)		評価指標・評価基準		自己評価			学校関係者評価		評価結果を踏まえた 次年度の改善策
				中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	取組指標 数値無しは100%を示す	成果指標 数値無しは100%を示す	取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
信頼される教育の確立	1	学校の組織力と学校運営	校長が精度の高い地図と羅針盤をもって明確な経営方針を示し、全職員が経営参画できる同僚性と協働性を高める。	職責に付加価値を付けて遂行する組織を構築する。	具体的な施策と目標を明示 経営・企画会議を組織的に運用	推進計画策定…年当初 経営会議…週1回	25の施策…実行 50の目標…達成	4	5	○意味付けや価値付け ●全職員が経営参画	A	学校経営方針が明確で、まとまった前向きな姿勢に感謝。	経営・運営会議と各分掌が密接に連絡・調整を図れる組織運営。
	2	安全管理危機管理	児童の安全安心を全てに優先させ、命を守るために、危険予知・未然防止の徹底等、安全管理・危機管理を徹底する。	常に最悪の状態を想定して未然防止、初期対応を期す。	防災・危機対応マニュアルを周知 看護当番体制の構築・徹底	危機管理策定…年当初 マニュアル周知…全家庭	看護当番の徹底…100% 重大事故発生…0件	5	5	○マニュアルを周知徹底 ●危機回避能力の育成	A	安心、安全が守られており、学校に対して、とても信頼。	児童の実態に合った実践的な危機管理能力育成を計画的に実施。
	3	学校公開情報発信	学校行事や学校公開日などの機会を多く設けるとともに、学校方針や活動状況など、有用な情報を積極的に伝える。	内容・方法・形態等を工夫して多彩に公開・発信する。	学校HPや校長通信等を充実 感染防止を施した公開の工夫	校長の発信…年24回 学校HP…毎日更新	参観…公開日100人 アクセス数…日50回	5	5	○学校HP等で常に発信 ●オンライン等の活用充実	A	学校ブログや情報伝達の速さ、学校行事等の工夫にも感謝。	コロナ禍においても開催方法を工夫して学校公開や面談等を継続。
	4	カリキュラムマネジメント	教育目標達成のため、教科横断的に各教科等の教育内容を相互に関連付け、配列し、教育課程全体と往還させる。	育てたい子供像を明確にし、教育課程全体を関連付ける。	教科等を関連付けた指導計画 総合的な学習の時間の見直し	総合の見直し…1学期 総合の指導・評価計画	授業に満足…8割 授業で達成感…8割	4	4	○総合的な学習の見直し ●納得解を生み出す力	B	必要不可欠な力を育むカリキュラムだと思います。	正解の無い問いに向き合い、未知の課題に対峙する資質の育成。
	5	学校・家庭・地域の連携協働	教育活動に必要な人的・物的資源を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせる。	地域の教育力・教育資源を効果的に教育課程に組み込む。	地域等の人材の積極的活用 地域等が参画する授業を増加	人材活用…全学年 授業参画…全学年	授業に満足…8割 授業で達成感…8割	4	4	○保護者に寄り添う運営 ●外部人材を有効に活用	B	情報発信、学校公開等、多様な情報を得る工夫があった。	古典芸能や文化、音楽、芸術等を共に楽しめる場と環境を作る。
	6	共にある教育の実現	学校・保護者・地域が互いに当事者となり、未来の学校の姿を見据えて共通の目標を共有し、教育課程を編成する。	未来の守護者を育てる教育課程を地域とともに作る。	学校関係者評価の再構築 評価結果を踏まえた教育課程	学校評価の立案…年始 改善案の立案…年末	保護者回答…9割 肯定的評価…9割	4	5	○理解・信頼の深まり ●相互補完的に協働する	A	保護者の意見に耳を傾け、学校改善に反映していた。	すべての大人が、相互補完的に協働し、互いに当事者となる。
	7	働き方改革の徹底	全職員が、働き方改革の意義を理解し、野球型からサッカー型の職務行動へと変革し、個が自律した組織とする。	働き方改革推進プランを策定し、教育の質を向上させる。	残業時間毎月45時間以内 週1回の定時退勤日の実行	推進計画策定…年当初 推進計画徹底…月1回	月45時間以内…全教員 月1定時退勤…全教員	5	4	○会議の効率化で残業減 ●全教育課程を厳選	B	働き方改革の本質を見抜いて、教育に専念していただきたい。	効率化の一方で職員研修、教育相談や補習等の時間を確保。
	8	ワンチームでビジョンを共有	通常級、専科、さくら学級、きこえとことば、大空教室、事務職員等、すべてが同一のビジョンを共有する組織とする。	内に開かれた教育を実現し、ワンチームで運営する。	学校経営方針を全職員で共有 全職員の役割を明確化する	周知徹底…年度当初 自己申告事前面接…全員	目標共有…全教員 各自の目標達成…8割	4	4	○ワンチームで協力 ●特色や特質を生かし合う	B	各自の専門性など、教育資源を有効に生かしていただきたい。	すべての教員がすべての児童に責任を持つ姿勢で、ワンチーム。
確かな学力の定着	9	基礎的基本的な学習の定着	授業改善推進プランに基づき、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を目指し、指導方法の工夫改善に努める。	学力の把握・検証に基づき授業改善を推進する。	各教科等で「書くこと」を重視 板書や発問する技術の向上	授業で書くことを重視 板書や発問の工夫	書くことが好き…8割 書く力が向上…8割	5	4	○書く意欲と力が向上 ●推進プランを全面改定	A	学校全体が落ち着いており、授業の雰囲気がとても良い。	研究方針に沿って、すべての学級で継続的に確実に実践。
	10	学びに向かう姿勢の向上	新たな価値を創造する「学ぶ意味」を理解させ、答えのない課題に最善解を導くことができる資質能力を育成する	他者と協働し学び合い、学ぶ楽しさや学びに向かう姿勢向上	効果的効率的な指導の工夫 分かる楽しさ・できる喜びを実感	やさしい学習指導 学び合い・教え合い	授業が分かる…8割 意欲的に学ぶ…8割	4	4	○全学級でICTを活用 ●探究学習を充実推進	A	子供の意見を尊重しており、学びの楽しさにつながっている。	授業の振り返りを大切にし、児童が自ら学びに向かう姿勢を培う。
	11	学習習慣・学習規律の定着	補習教室で「学ぶ意欲」「学ぶ力」「学び続ける力」を育成するとともに、家庭学習を支援し、学習の習慣化を図る。	「学びのすすめ」「家庭学習の進め方」を推進する。	授業・補習と家庭学習の一体化 宿題に確実に取り組む工夫	家庭学習との連携 くじら-ソング…全学年	学年×10分の達成…8割 基礎学力の定着…8割	3	4	○学習意欲・習慣の向上 ●放課後補習時間の確保	B	個に応じた指導は、一人一人の指導時間を確保するしかない。	補習時間の設定等、学力を底上げする時間と場や方法を確保。
	12	外部人材ICT活用	教科等で外部人材やICTを効果的に活用し、児童の興味・関心を高め、自ら学ぶ力や学び合い、教え合う力を付ける。	授業そのものを改革することにより学力を向上させる。	外部人材を有効活用した授業 授業でICTを効果的に活用	放課後補習…週1回 家庭学習の進め方…完成	補習利用…延べ750人 家庭学習の実施…8割	5	4	○ICT、オンラインの有効活用 ●1人1台端末や人材活用	B	ICT環境が大きく変化し、素晴らしいことと思います。	1人1台の端末、外部人材等を効果的に活用した授業改善。
	13	ユニバーサルデザイン	ユニバーサル・デザインによる分かりやすい授業、やさしい授業、個に応じた指導の工夫に努め、適切な支援を行う。	児童にやさしい教室環境、学習環境、授業を実現。	児童にやさしい授業を実践 特別支援教室等との連携	やさしい学習指導 やさしい環境整備	授業が分かる…8割 授業が楽しい…8割	4	5	○わかりやすい授業に尽力 ●UDを重視した授業改善	A	子供にやさしく分かりやすい授業の工夫がなされている。	授業スタイルやノート指導の統一等、効果的な指導形態や方法。
豊かな心の醸成	14	社会性の向上	認知、感情統制、対人スキルを養い、やり抜く力、辛抱する力を育成し、自他ともに敬意をもって関係する力を付ける。	自他ともに大切にできる豊かな心情を育成する。	認知機能や感情統制の支援 やりぬく力、辛抱する力の育成	認知機能・感情統制支援 異学年交流の充実	社会通念上いじめ…0件 適切な支援に満足…8割	3	4	○楽しく穏やかな学校生活 ●コグトレによる認知機能	C	先生の気配り、目配りで、落ち着いた生活につながっている。	社会性を育てるための認知、感情統制、対人スキル等を育成。
	15	自己有用感の醸成	学校・家庭・地域で、児童一人一人が「かけがえのない存在として大切にされている」と実感する自己有用感を高める。	自己有用感を高め、児童が個々のよさを発揮できる。	QUを踏まえた特別活動の充実 豊かな自己表現力を醸成	自己有用感を図る特活 全教員が児童に敬称	自分の価値を実感…8割 不適切な指導…0件	4	4	○自己有用感の向上 ●QUのさらなる活用	B	自己有用感が高まり、子供同士も思いやりある接し方ができる。	QUを活用した特別活動を工夫し、豊かな自己表現力を醸成。
	16	心の居場所づくり	一人一人の居場所がある学校作り、児童の心に寄り添う相談を心掛け、一人で悩みを抱えない雰囲気を作る。	様々な人と関わりをもち、悩みを話せるようにする。	全教員による個の支援・相談 SOSを出せる雰囲気醸成	学級以外の児童支援 授業規律の徹底	担任以外に相談できる8割 学級満足度…9割	4	4	○些細な変化を見逃さない ●SOSカードの開発・導入	A	子供たちや保護者にまで細やかに暖かく、一人一人対応。	SOSカードなど、話しやすい大人が校内にいるという雰囲気を醸成。
	17	特別支援教育の推進	教師自らの人権感覚の意識を高め、自他を大切に、偏見や差別を許さない豊かな人権感覚を磨く教育を行う。	校内委員会を中心に共通理解の元、一人を全員で支援	特支リーフレットによる啓蒙 校内委員会の定例化、活用	リーフレット作成…当初 校内委員会…月2回	特支教育の理解…8割 交流・共同学習…8割	4	3	○自他を大切する人権意識 ●交流・共同学習の充実	C	丁寧な言葉から、互いを尊重する機運が高まると考えます。	ニーズに応じた適切な教育的支援、交流及び共同学習等を充実。
健やかな体の育成	18	基本的な生活食習慣の定着	系統性を重視した意図的・計画的な健康と食に関する学習を推進し、児童が主体的に心身の健康の保持増進を図る。	健康教育・食育推進計画を改善、充実、徹底させる。	グッドモーニング60分の徹底 バランスのある食事で健康作り	生活・学習のすすめを活用 校長と会食…全学年	1日の病欠…3人以下 外遊び…週1回90%	3	3	○感染防止の徹底 ●食育の計画的な推進	C	黙食など徹底し、子供たちの食の安全に対する意識が向上。	食に関する知識と食習慣を身に付けるよう家庭・地域との連携指導。
	19	体力・運動能力の向上	体育の授業改善、日常的な運動習慣の定着により、生涯に渡って積極的に運動に親しむ資質や能力を高める。	体力調査結果を検証・活用し、体育授業を改善する。	元気アップガイドブックの活用 運動習慣に結びつく授業の工夫	元気アップの取組 体育の授業の工夫改善	運動が楽しい…8割 外遊び…週1回90%	3	4	○運動習慣が低下 ●元気UPの活用を充実	B	休み時間も子供たちがもつと外に出て遊んでいる姿を見たい。	運動の魅力や体の成長が実感できる指導法を工夫し、継続実践。
	20	オリ・パラ教育の推進	日本人としての自覚と誇りを持ち、自ら学び行動する国際感覚を備え、多様性を尊重し共生共助社会の実現を目指す。	5つの資質育成に重点を置いてオリ・パラ教育を推進する。	発達段階に応じた4×4の取組 オリ・パラ精神の理解・醸成	4×4の取組 オリ・パラ教育…年35回	オリ・パラの理解…8割 パラスポ体験…全学年	2	2	○オリ・パラ教育が停滞 ●最終年度としてまとめる	D	オリンピック教育も何らかの方策が必要かと。	オリ・パラの精神に立ち戻り、心を耕す取り組みをしていく。
	21	健康管理保健衛生	すべての子供たちが「一人にひとつの命」を自覚し、かけがえのない命を自ら守ろうとする意識と行動力を育成する。	すべての教育活動を通して全職員が健康管理に携わる。	感染症拡大防止行動の徹底 熱中症防止やアレルギー対応	感染症防止の徹底 健康管理の徹底	感染防止の徹底…10割 熱中症等事故…0件	5	5	○健康管理が徹底 ●新しい生活様式の定着	A	今年は欠席も少なく、元気に登校していることが何よりです。	すべての命を守る徹底した感染防止と新しい生活様式の定着。
輝く未来に向かって	22	課題解決・探究的な学びの充実	習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程を実現させる。	児童が自らから課題を発見し、社会や世界と向き合う。	総合的な学習の全面的見直し 探究活動に重点を置いた指導	総合単元開発…年度当初 探究活動…全学級	総合が楽しい…8割 保護者評価…8割	3	3	○総合学習の単元開発 ●SDGs思索・思考道場	C	「コロナと共に生きる」という大きなテーマに期待します。	探究的な見方・考え方を働かせて、未知の課題に対峙。
	23	主体的対話的で深い学びの推進	他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広く深める、主体的に対話的な学びの過程を実現させる。	児童が自らの学習を振り返り、主体的に学び続ける。	全教育課程で言語活動を充実 自らの考えを表現する力を育成	略案授業観察…年6回 話し合い活動…全学年	話し合いができる…8割 保護者評価…8割	3	4	○自分の言葉で思考表現 ●探究ノートの開発・活用	A	他者を社会的に隔離、排除しないよう対話の重視を継続。	探究ノートを開発、活用した課題解決・探究学習。
	24	地域の学校としての役割遂行	社会の創り手に必要な資質・能力の明確化し、児童が未来に向き合い主体的に関わっていく多彩な学びを展開する。	地域の中の学校としての役割を積極的に遂行する。	応援の手紙で地域に目を向ける 家庭や地域と協働して取り組む	家庭や地域と協働した取組 探究学習…全学級	学校は信頼できる…8割 保護者評価…8割	3	4	○集団と個の関係を重視 ●縦割り班活動の精選	B	子供たちの同士の関係性の構築からではないでしょうか。	異年齢集団の活動を一層進め、主体的な態度や自治力を育成。
	25	未来を創造する学校図書館	各教科等で、学校図書館の機能を計画的に活用し、児童の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を充実する。	すべての教職員が図書館機能を有効に活用する。	学校図書館スーパーバイザー と学校図書館活用を改革する	図書館を活用した授業 貸出…1人月2.5冊	貸出…1人月2.5冊 図書館で探求…月2回	2	3	○読書活動の推進 ●言語能力育成メソッド開発	B	図書室は来年度からはしっかり活用できればと思います。	図書館を活用して、協働学習、探求学習を通じ、言語能力を育成。